

赤穂市民病院（兵庫県）

病床数

380床

病院の特徴

赤穂市民病院は近畿の西南端、人口5万3千人の“忠臣蔵のふるさと”赤穂市に位置し、420床を有する地域中核病院です。当院では「良い医療を、効率的に、地域住民と共に」という大きな目標を掲げ、開かれた病院づくりを目指しています。これは、中世ヨーロッパの教会や大学、戦後の集会所や公民館が担ってきたコミュニティセンターとしての役割を「病院こそ市民のコミュニティセンターたるべし」との考えに基づく取り組みです。また、院是を「恕(じょ:おもいやり、ホスピタリティ)」と定め、なるべく家庭に近い療養環境、癒しの環境づくりに努めています。

医師数

61名(2011年3月1日現在)・・・臨床研修医9名を含む

初期研修医定員 1年次

単独型 7名(2011年度)/たすきがけ 2名(2007年実績)

// 2年次

単独型 7名(2011年度)/たすきがけ 2名(2006年実績)

処遇

職名:嘱託員

勤務時間:原則として8:20～17:05 時間外勤務 有

休日:原則として土・日曜日及び法令に規定された休日

休暇:1年目:14日、2年目:20日

宿直:当直医と共に月に数回、副直を勤める。

給与:給料月額 276,000円

このほか時間外勤務手当、期末勤勉手当を支給します

みなし給与(家賃相当額)を含めて 1年目 6,500千円相当(年額換算)

2年目 7,000千円相当(年額換算)

宿直:研修医宿舎 有

個人負担:月額 4,000円(※病院所有研修医宿舎を利用の場合の管理費)

保険等:社会保険、厚生年金、雇用保険

食事:職員食堂 有(有料)

研修プログラムの特徴

本プログラムは、地域中核病院である赤穂市民病院の特徴を活かして、プライマリケア、一次および二次救急に対応できる医師としての基本的診療の能力が身に付くよう企画されています。1年目には必修科目である内科と救急、選択必修科目のうち外科及び麻酔科を研修します。2年目には地域医療と11カ月間の選択科目の研修を行うことができます。

指導医から学生さんへのメッセージ

当院の病床数は420床ですが、標榜診療科は20科あり、兵庫県西南部の西播磨地域のの中核病院としての機能を果たしています。症例もcommon diseaseから珍しい症例まで幅広くあります。救急車も西は隣県の岡山県、東は姫路・神戸、北は佐用町までの広域から来るため、研修医にとって救急医療を数多く経験でき、自信をつけることができている。中規模病院の良さと診療科間の垣根は無く、どの診療科の研修中であれ他診療科の医師の指導も受けられるメリットがあります。また管理型としての研修医だけでなく京都大学と神戸大学からのたすきがけの研修医もおり、さらに学生実習も多く引き受けており活気ある研修医生活を送ることができます。有意義な研修生活をおくるため、とりわけ積極的に研修を行いたい方の応募を期待しています。

研修スケジュール(年間)

●研修スケジュール(例)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	必修科目:内科 (内科、消化器科、循環器科を各3ヶ月間研修)						必修科目:救急			選択必修科目 (外科・麻酔科を各1.5ヶ月間研修)		
2年目	地域 医療	選択科目 (内科、循環器科、消化器科、外科、小児科、産婦人科、整形外科、形成外科、麻酔科から 選択可能)										

※地域医療研修では、付属診療所や高知県四万十町大正診療所での研修を予定しています。

研修医からのコメント



いわゆる野戦病院でどんな症例が来るかわからないという点で大変勉強になりました。最初の一年は色々なことが新鮮で、興味を持って高い志で研修に望みやすい時期だと思うので頑張ってください。